

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日六十二月十

定部金貳錢 一月廿錢 三月五拾錢 半年九拾錢 一年一圓七拾錢 廣告費 五拾字一圓 十拾字一圓二角 二十拾字一圓五角 五十拾字一圓八角 印刷費 日刊一錢 週刊一錢 月刊一錢 半年一錢 一年一錢 郵費 日本國內一錢 國外二錢 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

常盤毎日新聞 林野之火災 (七) 縣會議員 井上茂作 火災の原因は煙草の吸殻炭 窺小兒の弄火放火汽車の飛 火等であつて何れも天災不 可抗力のものでなく人力を 以て豫防し得る原因のみで あります。本縣は既に林野 警察を設置し資伐又は火災 豫防に備へてありますが火 災度数の減少する傾向なく 却て増加する現象より考へ れば少數なる警官の力にの み信頼し置くことは危険で あると思ふ然らば如何と云 ふに警火思想の向上は國民 道徳の教育に俟たねばなら

眞正盛岡製南部鐵瓶 御用ノ節ハ左ノ方法デ願ヒマス 一、日掛金十錢ツ、……………(金七圓以内ノ品ハ) 一、日掛金廿錢ツ、……………(金七圓以上ノ品ハ) 下ナタデモ御來店又ハ葉書デ申込下サレバ即時御届 申上マス 専門販賣 南部屋 (吉田) 平町南町廿九番地

人事信用資産一般調査探偵及代金取立 興信日報發行・全國海外調査聯絡 帝國興信所 平通信部 平町白銀町十五

名特價提 手入供 拭手 一、普通品一反ニ付九拾錢 一、並上品同 九拾五錢 一、上等品同壹圓五錢 一、別等品十一本取壹圓拾錢 (現金價段) 御通知次第見本持參の上御伺ひ申します 形代なし (但し三十反以上) 本月廿日より二十七日迄 (一週間) 御名人手拭 の特價染上げを致し升 福島縣平町五丁目 吉田染工場 (電話五五八番) (振替仙台五三二八番)

泌尿婦人科皮梅毒 外科 阿部 醫院 平町字新川町電話六一五番

鳥牛鍋 六拾錢 出前も致します 外御飲物の種々 五拾錢 カフエー松ヶ岡 (女給さん入用優遇す) 松ヶ岡公園入口 電話六五二 同二三三番

大和田酒店 品が好く値が安く配達は早く萬事に氣の利くこと 請合致します 銘酒清世界 福島縣平町南町二〇番地 味噌醬油 罐詰各種 電話五五七番 振替東京七三〇八〇番

北東の一等 花沢の餅 花沢良司商店 前駅平

只今流行ノ編物 一各色 一最上毛糸 一スピン 一リリヤン 澤山入荷シ テラリマス ツルヤ 洋品店 電話一四〇

美味イウキ食堂 平町紺屋町(縣社通り) オの部電話四六〇番 冬物特價提供 白新毛ス 七五〇 晒木綿 七五〇 正紺綿 九五〇 白時雨面ネール 八〇〇 京都友染モス 一二〇 外に格安品 豊富に取揃ひ候 三井吳服店 平町三丁目 電話三三八番

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院 平南町(電話一七〇番)

大特價品提供 綿布 暴落 一足袋四足 九十錢 一兩毛無地ネル大巾一丈 八十錢 一上等裏地 八十錢 一越後節 七圓五十錢 一上等布圍皮 壹圓 一染 新 九十五錢 一上等正紺綿 壹圓 一友仙モス(尺) 十錢 平三丁目(電話六十七番) 中野吳服店

養生命酒 其偉効眞に神の如く 定價一圓五十錢、一圓 平町五丁目 山野邊藥局 購入の便法あり 乗用者 自轉車 音福 横森博士の推奨せる 平町搔地小路 鹽野平支店 附屬品店 本店 東京市神田區末廣町一〇

警察も困るし 辯護士も迷惑する

民事關係の解決まで 人事相談所に持込まれて

大正七年開所以來、八年来に及ぶが、警察署人事相談所に管轄區域の廣大なる五大炭礦があるため、も逐年増加し昨今の如き日に二件平均の相談が持ち込まれ、係員は常に人事相談關係の事務に忙殺されてゐる状態であるが、最近持ち込まれる人事相談は、貸金催促、薪料請求、その他立派な民事上の事件が、多くあつた。法律相談部の感があり更に不景氣の持續と共に民事關係の事件は増加の傾向にあり、これがため訴訟事務が滅切り減つて法曹界の一部に問題を起してゐるが、事實人事相談に願出づる民事關係の事件は何等の手数料費用等も要せず

取扱い 件数の如き

警城無線電信局と歐米各地との無線電信の所要時間を過般仙臺通信局に於て調査したる處によると、次の如くである。括弧の内は一、日平均の電信通数でその下は一通に對する平均時間である。

- ニューヨーク (二六三) 三時三十分
- サンフランシスコ (六三) 一、四
- シガゴ (三三) 一、五
- ロンドン (三三) 二、四
- ハンブルグ (三三) 二、四
- ベルリン (二〇) 五、四

警城無電へ 着く時間

警城無線電信局と歐米各地との無線電信の所要時間を過般仙臺通信局に於て調査したる處によると、次の如くである。括弧の内は一、日平均の電信通数でその下は一通に對する平均時間である。

警越東線で 機關車脱線

ポイントの誤認

廿四日午後十時五分頃警越東線小川郷驛構内にて下り三三號客車の機關車を入替中乗務員がポイントの誤認した爲め脱線したので、同十時十五分小川郷發平行的の最終列車は五分遅發した。

正面衝突 汽車とトロ

保線助手惨死

常磐線植田驛鐵道官舎内茨城縣多賀郡關本村生れ保線助手佐藤榮次郎(二七)は去る

晝は塵芥の運搬人 夜は生花の先生

植田町に住む安井君

石城郡植田町で塵埃整理に相當惱まされ且地方民は塵埃運搬を賤業視して従事する者もなかつたが、本年櫻子の初めの頃より新らさき荷車に身のまわりもきりつとした元氣ある一青年が現はれ、毎日各戸を廻り塵埃の運搬につとめ重寶がられ、月五十錢、一圓と各戸で與ひて居る此ゴミ屋さんは臺町に獨り住居をして夜間は遠州流の生花の指南をなす弟子も卅七名を持つてゐるから驚く、晝は勞働着に夜は風雅な生花の指南に羽織、袴に變る青年の素狀は奈良縣生駒郡三郷村安井清七(三三)君で青雲の志を抱き京都及東京に遊び京染注文取りとして各地を巡り種々なる

商工見學通信

第四通信

今日も亦麗かな小春日和何と恵れた旅だらう、朝七時宿を出て淡川神社に向ふ水戸黄門筆になる「鳴々忠臣楠子の墓」を拜してから直ちに三菱造船所に至る種々の説明を聞きながら大船小船の集まる灣頭に出た大形の浮ドックが三つあつた。午前十時半神戶を去つて商業地の大坂に再びおとすれた、それより直ちに大坂城に向ふ先づ驚くのは石垣の大きいのにあつた、流石に大關の膽玉の大と勢力の偉なるを物語つてゐた天主閣から市内を眺望すると築港方面は無数の煙突より黒煙を天

徒弟の搜索願

平町田町菓子店松月堂徒弟新瀧縣沼垂町生れ瀧谷良源(二七)は廿五日午後七時五十分の列車で郡山までの切符を求め家出したので同日雇主から平署に搜索方願出でた



フケの多い方へ

フケは今時秋になりますと多く出がちであります、これは体の新陳代謝が旺んになつて來るためですから或

東京第一 警官隊と衝突 群集は猛り立つた

川崎 文治

「ピラ撒きを掴へろ」と云ふ聲が起ると群集は一度にどよめき出した、それが敵か味方かは解らない、「殺れ」「殺せ」と云ふ騒ぎ、警官は群集を静せんとして聲を洩らす、各所に群集と警官隊の

小競合

ひが始つた。ここで一寸云つて置かねばならぬのは撒かれた宣傳ビラの内容である、餘りに其内容が過激な文字に満ちて

に漂はしてゐる城や煙の街だ。今夜は只今より大丸呉服店に行くはず……

無理に

口元に笑みをふくませる「そんな事を仰しやらずに、どうぞ歸つて下さい」と云ふ、僕は此一言を聞くや警官に務めて居る僕の友人達を考へた、非常に其職務が氣の毒に思はれてならない、「僕は君達の職務の貴さを知ります、穏やかに歸ります」斯ふ云ふと其關門を心よく通してくれた、僕は

電車に

乗つた、そして疲れた体を下宿屋の蒲團に横へた、大會の流れが二重橋前に殺到して今井代議士其他數十名が檢束された騒ぎを演出した事を知つたのは翌朝の新聞を讀んでからである

一人は

是れを押へ

た、殴り合へが始まる、忽ち五六人の警官に兩手をにじり上げられ無理無様に引き立てられた、是が檢束の皮切らしい、群集は「アノ男を取り戻せ」と兩手を振つて地團太を踏む、「どうぞお歸り下さい、皆さんの爲めでない、歸れ、歸れ」と叫ぶ警官の

警戒網

を突破した

御成門の所にはまた第二の警戒線がある鼠一匹洩らさじと警官隊は眼を光らして竝んで居る、僕は警官隊に「宮城前へ行つて萬歳を三唱するんだ、此處を通じて貰はなくちやあ困る」斯ふ云ふと警官の一人は